

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本酢ビ・ポパール(株)泉ヶ丘住宅	階数	地上5F
建設地	大阪府堺市南区若松台一丁2番2	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	124 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年10月30日
敷地面積	14,928 m <sup>2</sup>	作成者	西川 学
建築面積	870 m <sup>2</sup>	確認日	2018年10月31日
延床面積	4,132 m <sup>2</sup>	確認者	北谷 幸一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
建物・設備の耐久性を上げ、ライフサイクルコストの低減に努めている。 断熱性能を良くして、室内温熱環境を快適にし、省エネルギーな建物となっている。	0	
<b>Q1 室内環境</b> 断熱性能が高く、室内温熱環境が快適である。 窓面積が大きく、自然換気が十分とれている。	<b>Q2 サービス性能</b> 腐食性に優れた材料を採用し、耐久性を高めている。また、複数の通信網により、緊急時の信頼性を高めている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b> 効率の良い設備機器を採用し、一次エネルギー消費量を削減している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし	<b>LR3 敷地外環境</b> 耐久性の高い材料を使用し、ライフサイクルコストを低減している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	日本酢ビ・ポパール(株)泉ヶ丘社宅寮新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市南区若松台一丁2番2, 6, 7, 9, 10	0.7	B-
	主用途/延床面積	集合住宅 / 4,131.89 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	■■■■●
みどり・ヒートアイランド対策	2	■■●●●
エネルギー削減	4	■■■■●
建物の断熱性	3	■■■●●
安全快適な暮らし	3	■■■●●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.2	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	2	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		1.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	1.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	4	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.5
建物の断熱性	評価項目	スコア	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.0
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	3	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値		4.0
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		1.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	3.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	—	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		2.0

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	